

政策シート

(政策名) 知の拠点としての図書館機能の拡大

(予算費目名) 図書館費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
 - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

◇政策の概要

図書館サービスの一層の向上と、地域に根ざした情報拠点の創出を目指し、「いかす」「はぐくむ」「つながる」「つくる」をキーワードに、多様なニーズに応える資料の収集と誰もが利用しやすい図書館づくりを進める。

◇関連するSDGsのゴール

④教育								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,114,772	1,182,923				
決算	1,103,778					
人件費(A)	358,670	330,670				
報酬(B)	145	158				
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,462,593	1,513,751				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
市民1人当たりの貸出冊・点数	冊・点	目標		5.7	5.7	5.8	5.8	5.9
		実績	5.7					
利用者カード有効登録率	%	目標		21	21	22	22	23
		実績	21.2					
利用に関するアンケート調査における満足度 「図書館の総合評価としてはいかがですか」	点	目標		4.3	4.3	4.4	4.4	4.5
		実績	4.2					

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

図書館サービスの一層の向上と、地域に根ざした情報拠点の創出を目指し、「いかす」「はぐくむ」「つながる」「つくる」をキーワードに、多様なニーズに応える資料の収集と誰もが利用しやすい図書館づくりを進める。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・各館による企画展示、各種講座、イベント等の開催などを通じ、4,571,416冊・点の資料貸出があった。 ・図書館ビジョン実現のために、中央図書館のマネジメント強化に向けた窓口業務直営化及び民間活力の更なる活用に向けた城北図書館の指定管理者制度導入のための調整を進めた。 ・多文化サービスを主目的として、日本語を含む8か国語の資料により電子図書サービスを本稼働させた。 ・学習支援パックは資料の充実により10,312冊・点の貸出があった。また、調べ学習講座参加数及び調べ学習コンクールへの応募数も増加しており、児童・生徒の調べ学習の促進に効果がみられた。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	図書館運営事業	○	○			1,513,051	1,182,223	37.8	3.1		19.8	158
2	国際児童年記念児童文庫基金積立金					700	700					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						#####	1,182,923	37.8	3.1		19.8	158

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 図書館運営事業

◇事業目的・事業対象

図書館サービスの基本となる図書資料の収集と貸出しや各種講座・講演会の実施、児童サービス等を通して、市民の生涯にわたる学習活動の支援を行うとともに、知の拠点としての図書館機能の充実を図る。

◇事業の概要

- ① 図書館管理運営事業…市直営図書館6館の管理運営及び図書運搬等を行う。
- ② 図書館指定管理運営事業…17館1分室に指定管理者制度を導入し、指定管理者による運営を行う。
- ③ 図書館サービスシステム維持管理事業…図書館サービスシステムの維持管理及びホームページ等による情報発信サービスを行うとともに、図書館システムの次期更新に向け、調査・研究を行う。
- ④ 資料収集事業…一般図書、児童書、新聞雑誌、郷土資料、参考図書、視聴覚資料等の図書館資料を購入する。
- ⑤ 電子図書館事業…「浜松市文化遺産デジタルアーカイブ」によりデジタル化した浜松市史及び史資料等一般公開するとともに、「はままつ電子図書」により電子書籍等を閲覧に供する。
- ⑥ 調べ学習応援事業…学習支援バックの貸出、充実化及び調べ学習コンクールを開催する。
- ⑦ 図書館サービス事業…各種講座、講演会等の開催や、音訳・点訳を通して読書資料を提供する声のライブラリー事業、郷土資料の調査・整理・保存、多言語資料の充実化等の多文化サービス、読み聞かせボランティアの養成、レファレンスサービスを行う。
- ⑧ ブックスタート事業…0歳児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせやわらべうたの実演、絵本等の配布を行う。
- ⑨ 施設整備事業…図書館施設の整備及び中長期的視点に立った適切な維持管理・保全業務を行う。中央図書館については、大規模改修工事の実施設計を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S25	-	一般会計	自治事務	図書館法、同施行令、同施行規則、浜松市立図書館条例、同施行規則	○		○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,114,072	1,182,223				
	決算	1,103,478					
	国・県支出		1,349				
	市債						
	その他	3,985	2,918				
	一般財源	1,099,493	1,177,956				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)		145	158				
人件費 (千円)		358,670	330,670				
人工	正規	42.6	37.8				
	再任用(h31)	3.1	3.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	17.8	19.8				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.5、4.7、4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

公共図書館は、基本的人権のひとつとして「知る自由」をもつ国民に、資料と施設を提供することを最も重要な任務としている。すべての人が平等に利用でき、あらゆる段階での個人的及び自主的な教育を支援することが図書館の役割である。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市民1人当たりの貸出冊・点数(冊・点)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値			5.7	5.7	5.8	5.8	5.9
実績値	5.6	5.7					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
利用者カード有効登録率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値			21	21	22	22	23
実績値	21.4	21.2					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合					Ⅱ-2(1)イ		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	32.5	33	33	33	34	34	35
実績値	32.3	33.1					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
利用に関するアンケート調査における満足度「図書館の総合評価としてはいかがですか」(点)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値			4.3	4.3	4.4	4.4	4.5
実績値	4.2	4.2					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ①図書館管理運営事業…市直営図書館7館の管理運営及び図書運搬等を行う。
- ②図書館指定管理運営事業…指定管理館16館1分室の管理・運営指導を行う。
- ③図書館サービスシステム維持管理事業…図書館サービスシステムの維持管理及びホームページ等による情報発信サービスを行うとともに、図書館システムの次期更新に向け、調査・研究を行う。
- ④資料収集事業…一般図書、児童書、新聞雑誌、郷土資料、参考図書、視聴覚資料等の図書館資料を購入する。
- ⑤電子図書館事業…「浜松市文化遺産デジタルアーカイブ」によりデジタル化した浜松市史及び史資料等一般公開するとともに、「はままつ電子図書」を本稼働する。
- ⑥調べ学習応援事業…学習支援パックの貸出、充実化及び調べ学習コンクールを開催する。
- ⑦図書館サービス事業…各種講座、講演会等の開催や、音訳・点訳を通して読書資料を提供する声のライブラリー事業、郷土資料の調査・整理・保存、多言語資料の充実化等の多文化サービス、読み聞かせボランティアの養成、レファレンスサービスを行う。
- ⑧ブックスタート事業…0歳児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせやわらべうたの実演、絵本等の配布を行う。
- ⑨施設整備事業…図書館施設の整備及び中長期的視点に立った適切な維持管理・保全業務を行う。

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p style="text-align: center;">計画通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各館による企画展示、各種講座、イベント等の開催などを通じ、4,571,416冊・点の資料貸出があった。 ・図書館ビジョン実現のために、中央図書館のマネジメント強化に向けた窓口業務直営化及び民間活力の更なる活用に向けた城北図書館の指定管理者制度導入のための調整を進めた。 ・多文化サービスを主目的として、日本語を含む8か国語の資料により電子図書サービスを本稼働させた。 ・学習支援パックは資料の充実により10,312冊・点の貸出があった。また、調べ学習講座参加数及び調べ学習コンクールへの応募数も増加しており、児童・生徒の調べ学習の促進に効果がみられた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工 縮小

- ・市が運営ノウハウを継続的に維持するため、令和2年度からの中央図書館の窓口業務の直営化に向けて準備を行った。併せて、民間活力を活用した地区図書館サービスの更なる充実を目指して城北図書館に指定管理者制度を導入するため、指定管理者の公募・選定を実施し、事業者を選定した。
- ・指定管理者制度により運営している施設では、ブックスタートの実施を指定管理者の業務とした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工 縮小

- ・指定管理者公募に関し、より施設の効用が発揮されるものとするため、仕様や公募単位の組合せの見直しについて検討していく。

事業シート (事業名) 国際児童年記念児童文庫基金積立金

◇事業目的・事業対象

国際児童年記念児童文庫基金に対する篤志家からの寄付を積み立て、児童図書等の資料の購入により児童図書等の充実を図る。

◇事業の概要

国際児童年記念児童文庫基金に対する篤志家からの寄付を積み立て、児童図書等の資料の購入により児童図書等の充実を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	-	一般会計			-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	700	700				
	決算	300					
	国・県支出						
	市債						
	その他	300	700				
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.5、4.7、4.a	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

公共図書館は、基本的人権のひとつとして「知る自由」をもつ国民に、資料と施設と提供することを最も重要な任務としている。すべての人が平等に利用でき、あらゆる段階での個人的および自主的な教育を支援することが図書館の役割である。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

国際児童年記念児童文庫基金に対する篤志家からの寄付を積み立て、児童図書等の資料の購入により児童図書等の充実を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・篤志家からの寄付の積み立てを行い、児童図書の購入費に充当し、図書館の絵本をはじめとした児童資料の充実を図った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き篤志家からの寄付を積み立てし、児童書の充実のため絵本等の児童書の購入に充当する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工